

# IT調達マネジメント実践講座

## ～システム調達に必要な基礎知識から導入プロジェクト管理手法まで～

### 対象

システム発注に携わる各部門のご担当者、総務部門・調達部門等の契約ご担当者

### 開催趣旨

- DX 推進する中でバンダーからシステムやサービスを調達する際、満足できる機能・UI を実装するためには、クライアント側(=発注サイド)の IT サービスや IT システムの調達実務の理解が非常に重要となります。また、システムに対する社内の要望の整理やエンドユーザーとの調整、仕様書の作成、システムバンダーとの調整など、多くの作業や意思決定が必要となります。
- そこで本講座では、IT サービスや IT システムを調達する上での必須知識と、事前作業～導入～運用までの全体の業務の流れを解説します。また、システム導入時に役立つプロジェクトマネジメントの手法も紹介します。

### 日時

< LIVE 配信 > 2024年2月21日(水)10:00～17:00  
< 見逃し配信 > 2024年2月28日(水)～3月6日(水)  
※見逃し配信のみのご受講でもお申込みいただけます

### 講師

プロジェクトマネジメント・コンサルタント  
**片江 有利氏**

### 参加料 (負担金)

NOMA会員 33,000円(税込)/名  
一般 40,700円(税込)/名

### 申込方法

■株式会社ファシオが運営するサイト Deliveru からご受講  
いただきます。  
お申込みは、Deliveru、本会 HP のどちらからでも可能です。

#### ■Deliveru から申込

- Deliveru [https://shop.deliveru.jp/]でセミナーを検索し
- セミナー詳細ページにある「注文する」からご購入ください  
(お支払方法:クレジットカード払い、pay-easy、コンビニ振込)
- 購入後、確認メールが届きます

#### ■本会 HP から申込

- 本会 HP[https://www.noma.or.jp/]よりセミナーを検索し
- 「WEB 申込」から必要事項を入力しお申込みください
- 申し込み後、確認メールが届きます。後日、請求書と参加券が郵送で届きます(お支払方法:請求書による銀行振込)

### 配信イメージ

講師 資料 板書 全体

KPI (Key Performance Indicator) の合理的な根拠

二つのチェックポイント

- KPI (数値目標) を達成しなかった場合の分析に使えるかどうか
- アクション (事務事業) を実施すると目標 (KGI) は達成できるか

ダウンロード

いつでもどこでも何度でも受講できる  
見逃し配信付きです!

- 見逃し配信は
  - 期間中は繰り返しご受講できます
  - 講義の復習等にご活用ください
  - 倍速機能付で効率よく学習できます
- 資料はデータ提供です
- 拡大したい画面を自分で選択できます



NOMA HP

NOMA 講座

検索

### 受講方法

- 登録メールアドレスに、受講 URL/ID 等詳細のご案内が届きます(Live 配信の概ね 3 営業日前)
- ※ご案内メールは、no-reply@deliveru.jp から送信いたします
- 本セミナーでは、カメラ・マイクは不要です
- テキストは、Live 配信のおおよそ 3～1 営業日前にサイト内でダウンロードできるようになります
- セミナーの録音・録画や資料の複製、お申込みいただいていない方の閲覧等は固くお断りいたします

### キャンセル

テキスト資料到着後(データ含む)のキャンセル料は 100%を申し受けます

### その他

参加者が少数の場合、天災の場合等においては、中止・延期させていただく場合がございます

### 主催・担当

一般社団法人 日本経営協会 (東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-11-8) 本部事務局 かわいり開発 G tms@noma.or.jp

### 申込問合せ

株式会社ファシオ ☎ 03-6304-0550(平日 10時～17時) ✉ bcs-info@vita-facio.jp

# プログラム

## 1. システム開発とは

### (1)システム開発フェーズと

システム開発プロジェクトの特性

### (2)IT プロジェクトがうまくいかない理由

### (3)ウォーターホール開発とアジャイル開発

## 2. プロジェクトマネジメント概論

### (1)5つのプロセスと10の知識エリア

### (2)プロジェクト、プロジェクトマネジメントとは

## 3. 受注者(ベンダー)が行う

### プロジェクトマネジメントの理解

### (1)5つのプロセスと10の知識エリアのポイント

・プロジェクトの立ち上げからリスクマネジメントまで

## 4. 調達マネジメントプロセスのポイント

### (1)調達マネジメントの流れ

## 5. 開発中のベンダーとのかかわり方

### (1)ベンダー管理のポイント

### (2)システム発注者が行うプロジェクトマネジメント

## 6. 要件定義

### (1)要件定義の重要性

### (2)要件定義の手順

## 7. テスト

### (1)不具合があったら

## 8. データ移行

## 9. 新システムの稼働

## 10. 稼働後のベンダーとの関わり方(保守)

## 11. 演習

※最新の動向・情報を盛り込むため、内容を一部変更させていただく場合がございます。

# 講師紹介

プロジェクトマネジメント・コンサルタント かた え ありとし 片江 有利 氏

1974年4月大正海上火災保険株式会社(現三井住友海上火災保険株式会社)に入社、システム企画、損保商品開発、代理店営業推進、経営企画、生保事業立上げ、生保会社損保提携等を経て、1998年三井みらい生命(現MSA生命)に出向、生保商品開発部長、システム部長、コンプライアンス・リスク管理等部長等のスタッフ部門責任者を歴任。2006年より株式会社プロシードに移り、ITサービス事業、コールセンタ向けCOPC事業部門長を経て、組織土壌改革等のコンサルタント業務やPMコンサルティング、研修講師を務める。2017年9月プロシードを退職し、PM アソシエイツ、ヒューマンズ・ネット等で研修講師を務める他、システムコストマネジメント顧問、トムソンネットで保険関係の講師を務める。2006年よりPMI日本支部理事を務め、広報・宣伝担当、ミッション委員会担当、企画委員会担当を務め2020年1月よりPMI日本支部会長、2022年4月より監事。PMOグローバルアライアンスアワード審査員。

#### 【資格】

PMI-PMP (Project Management Professional)、ITIL Foundation V3、他 FP、金融内部監査士他金融関係資格保有

#### 【著作】

日本能率協会マネジメントセンター通信講座「プロジェクトマネジメント入門」全2巻